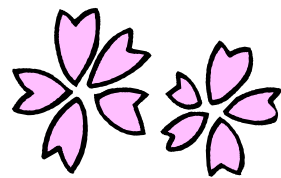


高遠町 地域協議会だより



平成28年9月発行 第38号

地域協議会だより第38号では、平成28年度第1回から第4回までの地域協議会の協議内容をお知らせします。

第1回地域協議会

平成28年4月27日(水) 高遠町総合支所

第4期の委員による、第1回高遠町地域協議会が開催されました。

開会に先立ち、白鳥市長より委嘱書が交付され新しい委員による地域協議会がスタートしました。

◆ 正副会長の選任について

指名された選考委員5名による選考委員会の中で、会長に小松 雅委員、副会長に伊藤 岩雄委員が推薦され、委員の全会一致で選任されました。

◆ 高遠町地域協議会について

事務局より、伊那市地域自治区条例について、また高遠町地域協議会規約、議事運営申し合わせ事項等が説明され、今後の協議会運営について確認されました。

◆ 「日本で最も美しい村」推進委員会(仮称)の設置について

事務局より規約案が示され、協議の結果、推進委員会設置が決定されました。

第2回地域協議会

平成28年5月31日(火) 高遠町総合支所

◆ 高遠町地域関係事業・予算について

平成28年度の高遠町地域関係事業・予算の概要が、総合支所各課長から報告されました。

◆ 地域公共交通の維持・活性化について

事務局より、三義・長谷循環バスの1便当たりの乗客数が、他の路線よりかなり

下回っているとの現状が説明されました。また、今年度、見直しの該当路線となっており、今後も路線を存続するため、住民主体の「路線を守り育てる会」の発足について協議がされました。

地域協議会としては、地元を中心とする専門委員会を立ち上げ、検討をお願いしたいとの方向で決定しました。

◆ 委員からの提案事項について協議されました。

・委員提案

① 信州高遠美術館、高遠歴史博物館への集客について

② 集落名・町名の謂れ案内板設置について

③ 観光資源である高遠の歴史を正しく伝えるために

第3回地域協議会

平成28年6月28日(火) 高遠町総合支所

◆ 研修 地域おこし協力隊員に聞く

平成28年4月より地域おこし協力隊員として高遠町へ移住し活動をしている杉山 祐樹さんを講師に迎え、「ふらっと」たかとう 城下町「高遠みんなでハッピー」になるプロジェクト案と題し、高遠町の活性化のヒントについて様々なアイデアの講演をいただきました。

◆ 伊那市協働のまちづくり交付金事業について、申請団体からの説明と質疑の後、選考を行いました。

第4回地域協議会

平成28年7月28日(木)

高遠町総合福祉センター

◆ 伊那市議会、事業点検評価特別委員会との意見交換会を行いました。

第4期地域協議会委員 をご紹介します。(敬称略)

任期は、平成30年3月31日までです。地域の代表として、活動が始まりました。



地域協議会
会 長
こまつ たかし
小松 雅
(河南区 長 会)

この度、第4期高遠町地域協議会、会長に就任いたしました小松 雅でございます。

合併十年が経過し、合併特例法から地方自治法による任意設置と、その位置づけも変わりました。旧高遠においては、人口の減少、高齢化等、過疎化に歯止めがかかりません。無為無策では限界集落となります。当地には誇るべき文化、史跡、自然等、豊かな観光資源があり、それらの資源を活用すべく、住民、行政が連携して地域の活性化に取り組みする必要があります。地域協議会の廃止の気運の中、これまでの高遠町地域協議会の活動実績が評価され、また当地の状況等も理解され、協議会の存続となりました。町内各地では、各種団体による地域振興活動がなされており、心強く思います。

私共、地域協議会も地域の諸問題、住民の要望等に対処し、美しい町高遠の創生に微力ながら務めてまいりたいと思っております。



地域協議会

副会長

伊藤 岩雄

(藤沢区長会)

前回の三年間は、沢山の事を学び、経験させていただきました。今回はこれを生かし微力ですが、高遠町が少しでも良くなるよう、精一杯務めさせていただきます。

さて、市は今年合併十周年となり、合併後の市政に対する様々な意見・感想が聞かれます。私達住民も合併の功罪を検証し、行政に対し声をあげていくべきではないかと考えます。これからの市、高遠町のあり方へのご意見・ご提言を地域協議会にお聞かせいただければと思います。

高遠町地域では、活性化をめざし「保育園と未来を考える会」をはじめとして、いくつかの団体の活動が始まっています。こうした取り組みを地域全体で理解し協力していくことも、高遠町にとって必要なことではないでしょうか。皆で考え助け合える素晴らしい高遠町であつて欲しいと思っています。



1番 委員
清澤 秀男

(高遠地区区長会)

今年の伝統的七夕は、八月九日です。七夕伝説は、皆さんご存知のように昔の中国で生まれ、「織り姫」と「彦星」を年に一度、七月七日の夜に逢わせてやると、「天帝」が約束しました。しかし星が実際に移動することはありません。織り姫はこ座の一等星・ベガで、彦星は、わし座の一等星・アルタイルです。この二つの星の間は十四、四光年

程離れていて、これは光のスピードでも約十四年半かかつてしまう距離です。二人が光のスピードで移動したとしても、一年に一度逢うことはとても無理なことと。と、夢を壊すような話ではなく、地域協議会委員としてちつちやくても夢のあるような仕事をしたいと思えます。そうそう、来年の伝統的七夕は八月二十八日(国立天文台)だそうです。



2番 委員
北原 喜久男

(長藤区)

協議会に何回か出席させていただき、浅学菲才な私には任の重さを痛感しています。私の趣味は囲碁にゴルフです。どちらも難しく奥が深いのですが、失敗しても迷惑を掛けることが無いので安心して出来ます。協議会では失敗することは出来ません。地区と行政のパイプ役として精通しながら諸問題に当らうと思つていきます。二年間よろしくお願ひします。



3番 委員
原 一穂

(三義区長会)

この会の目的等、内容もよく知らないまま引き受けてしまいました。会議に参加させていただき、早三か月が過ぎましたが、勉強不足の為付いていくのがやつとです。黙つていては何も伝わりません。地域の皆さん、諸団体の意見を聞いて、行政に伝え、少しでも住み良い高遠になれば良いですね。地域の活性化はもとより安心、安全な高遠、住みたい高遠にしましょう。

地球温暖化となり、各地で災害が多発していますが、災害も少ない、山紫水明の地、高遠こそ今求められている地域だと思います。



6番 委員
高田 かずや

(高遠小学校 PTA)

兵庫県姫路市出身。進学をきっかけに高遠町小原で暮らし始めて二十年近くになります。年々児童数が減少していく中、地域の皆様と一緒に地域社会に順応できる子供を育て、「成人しても高遠で暮らしたい」「いつか故郷高遠に戻ろう」と、子供達に思ってもらえるような町づくりを推進する協議が出来ればと思います。



7番 委員
伊藤 信一

(高遠小学校 PTA)

合併前で言えば、町議会同様と伺い、こうした場に経験のない自分が、いきなり参加するというのは、大変荷が重い事でありましたが、同時に大変興味深い事でもありました。せっかく戴いた機会、少しでも地域のお役に立てればと思います。





8番 委員
今枝 はじめ
(高遠中学校 PTA)

前任期はPTA推薦として、今期は中学校推薦として二期目を務めさせていただきました。地域の未来を考える場が、多様な世代に開かれていることは大切なことだと思います。今期の高遠町地域協議会は、各保育園、小中学校からも委員を推薦していただき、子育て世代の若い委員が増えました。各保育園が抱えている課題は、小中学校の今後の姿の写しでもあるでしょう。地域の維持可能な未来を、共に考えていければと思っています。



9番 委員
竹内 幸恵
(高遠保育園
保護者会)

私は高遠に住んでまだ六年です。地域の事は知らない事ばかり、地域協議会での話し合いでも、分からない事が多いのが現状です。これから勉強していきたいと思っています。先ずは子育てをしている母親としての意見を協議会の中で提案できるように努力したいと考えます。



10番 委員
林 亮
(第2・第3保育園
保護者会)

私は五年前に神戸市から家族で藤沢地区に引っ越してきました。決め手になったのは、現在息子たちが通っている高遠第二・第三保育園と高遠北小学校でした。当時は「信州やまほいく」にも認定されていないだったので、情報は市のホームページに設立年度や園児数、連絡先等だけでした。知り合いが通園させていたので、口コミという形で保育園のことを知りました。実際に通園させてみて、四季を通じ藤沢地区の自然環境や地域の方々に支えられ息子たちは、たくましく健やかに成長しているなど実感しています。都会では待機児童という問題が起こっており、預けたくても預けられない家庭がたくさんあると聞きます。そして、行政が新しい保育園を建設しようとする、地元住民から反対され増やすにも増やせないこともあるようです。子供を安心して育てられない地域に未来はあるのだろうか？と疑問が湧いてきます。これから二年間お世話になります。



11番 委員
伊藤 のり子
(高遠町婦人会)

この度、伊那市高遠町婦人会より推薦されました。これまで二回の協議会を経て、問題の難しさに頭を抱えています。一方でいろいろな情報を得られることに感謝しています。皆さまに支えていただきながら何とか任務を果たしたいと考えています。ご指導くださいますようお願いいたします。



12番 委員
安井 かほる
(婦人教育推進
協議会)

「高遠町役場」の文字が「伊那市高遠町総合支所」に変わっていった。毎朝役場を見上げて心がざわついた。あれから十年、町は変化し自分もまわりも老いた。そして今、夜空を仰いで思うこと。命の尽きるその日まで、高遠町に生きたことに感謝できる自分自身でありたいと。



13番 委員
伊藤 隆淑
(伊那市商工会
高遠支部)

高遠で生まれ育ち、後継者としてこの地に根付き、時代の流れの早さに驚きながら日々を過ごしています。商業、観光に携わる仕事柄、昨今の人口減少、人口流出、観光客の減少、他市町村の観光への取り組み等などにより、こと弊社に限らず、高遠全体を見回しても、活気があるとは言いが切れず、何とか少しでもこの町が活気に満ち溢れるよう、微力ながら協力させていただければと思います。



14番 委員
竹松 泰義
(伊那市観光協会)

私は、高遠の商店街で旅館を営んでおりますが、以前に比べると県内外からのお客さんは年々減ってきております。四月の高遠城址公園の桜、花の丘公園の八重桜、ローズガーデン等、花の街高遠には素晴らしい観光資源がありますが、特に近年、コヒガンザクラの勢いが、樹齢や気候の変化により年々弱ってきて、この先、何年維持できるか心配です。国の指定を受けているために、今の場所に新たに植樹はできないとのこと、公園の桜が絶え

てしまうのではないかと心配するのは私だけでは
ないでしょう。昨年、「日本で最も美しい村」連合
に加盟したのを機に、もつと皆で知恵を出し合い
大切な資源を活かし、すばらしい自然環境を守っ
ていかなければと思います。

南アルプス、中央アルプス等にお越しのお客様に、
ぜひ高遠の町に足を運んでいただけるよう、共に
美しい町づくりを心掛け、頑張っていこうではあり
ませんか。



15番 委員
伊藤 三明
(東部地区農業
振興センター)

前回はJ・A上伊那の代表として、今回は農業
振興センターの推薦を受け、唯一農業者の代表と
なり責任の重さを感じています。
農業者の高齢化、農地の荒廃化が進む中、新
規就農者の掘り起しや法人組織の設立等に、よ
り多数の人の関わりによって農地と農業を守り抜
くよう、努力したいと思っています。



16番 委員
湯澤 まさ江
(伊那市高遠町民
児童委員協議会)

地域協議会の何たるか、協議内容はどのようか
ドキドキしながら出席しました。そうそうたるメ
ンバーにビックリ、協議内容も大変で私に務まる
か本当に心配になりました。回を重ねるうちに、
自分の地域以外のことについては知らないことが
多く、他地域のことを知る等、大変勉強になりま
すが、私が役に立っているのか、やはり心配です。
皆さんの意見を良く聞き、学びながら私に出

来ることをしていけるように、頑張っていきたいと
思います。



17番 委員
守屋 俊介
(高遠町公民館)

公民館活動をしていても、参加者やチームの減
少など過疎化・少子高齢化の問題を肌で感じる
ところ。十年先はいつたいたいどうなってしまうの
か、心配です。移住などで人々を呼び込むのが、
短期的には効果のあることだと思えます。だが、
全国どこでも同じ状態で、高遠が移住先選ば
れる魅力ある町にしていかなければいけないと思
っています。



18番 委員
伊藤 功一
(消防団)

私は、伊那市消防団の推薦を受け、地域協議
会の委員になりました。地域の皆さんが安心して
暮らせる様、消防団活動に取り組んでまいりまし
た。
これからは、地域協議会の委員としての目線で
も地域の安全安心に取り組みたいと思いま
す。災害のないよう願っておりますが、地域の
皆さんの防災意識の向上にも取り組んでまいりた
いと思っております。



19番 委員
矢澤 親男
(一般公募)

私は、長藤区長、的場総代ほか地域の皆さんか
ら勧められた公募委員です。小規模な集落や町
内会の声はなかなか行政に届きにくいと思いま
す。現在の十二区別を再編成して旧五ヶ町村の五区
制とし、地域協議会と連携した組織にすべきで
す。

また、「日本で最も美しい村」連合への加盟は地
域の誇りです。住民一人ひとりの取り組みが必
要です。各集落に一団体を組織して、景観、環境、
文化等の地域づくりを目指したいと思えます。

* * * * *

お知らせ

地域の身近な課題や問題点
などが、どのように議論されて
いるのか地域協議会を傍聴し
てみませんか。傍聴を希望さ
れる方、また地域協議会に対
するご意見、ご質問等は協議
会委員または高遠町総合支所
総務課までご連絡ください。

高遠町地域協議会をはじめ、
伊那市の地域協議会に関する
情報は、伊那市ホームページ/
市政情報/協働のまちづくり/
地域協議会をご覧ください。

『<http://www.inacity.jp/>』

編集発行 高遠町地域協議会事務局

(事務局 伊那市高遠町総合支所総務課内)

電話 94-2551 FAX 94-3697

Eメール t-sou@inacity.jp